

保証人意見調査、結果の概要

2006年 10月3日(水曜)
高木英至(分析および文責)

意見調査対象者： 教養学部在籍学生の保証人(留学生[保証人がいない]は除く。)

質問紙の構成

- Q 1 : 学生の性別、学年
- Q 2 : 大学教育への一般的な考え方
- Q 3 : 埼玉大教養学部が教育面でどのようなことをすることが重要か?
- Q 4 : 要望の自由記述

回収数：割と良い

全体：	400名 ¹	(49.3%、400名/812名)
学年別：	1年生	136名 (71.6%、136名/190名)
	2年生	84名 (50.3%、84名/167名)
	3年生	102名 (52.6%、102名/194名)
	4年生以上	79名 (30.3%、79名/261名)
性別：	男性	162名 (52.1%、162名/311名)
	女性	238名 (47.5%、238名/501名)

大学教育への一般的な考え方(Q2)

下図は項目別の平均値(5点尺度)を指す。項目間の平均値の差は統計的に有意である(対応t検定)。

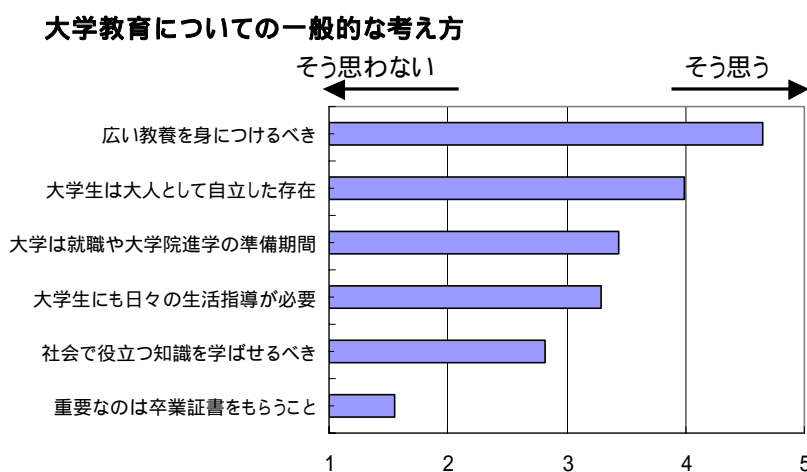


図1: 考え方平均値(Q2)

¹ 1年生と4年生の2名の保証人が1人含まれている。学年別の人数では1、4年両方でカウントした。

結果はおおまかに、次のようにまとめられる。

1. 実用的知識よりは広い教養を目指すべきとの考えが強い。
2. 学生を生活指導の対象と見るよりは自立した大人と見るべきとの考えが強い。

学生の性別と学年を要因とした分散分析（2元配置）の結果では、次の傾向だけが統計的に有意となった：「社会に出てから役立つ知識を優先的に学ばせるべき」と考える傾向は女子学生の保証人の方が男子学生の保証人より強い。その他の項目では、学生の性別、学年による差はない。

教養学部教育への要望（Q3）

下図は各項目の重要性の評定平均値（5点尺度）を指す。項目間の平均値の差はやはり統計的に有意である（対応t検定）。

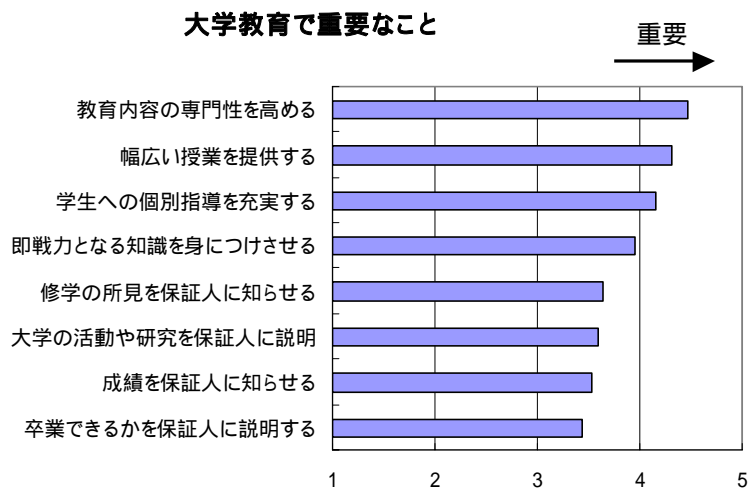


図2: 重要性評定平均値 (Q3)

おおまかな結果として注意を引くのは次の点である。

1. 保証人へのサービスよりは、学生への教育をしっかりやることへの要望が強い。
2. 教育の専門性・広さの重要性が最も評定値が高く、即戦力への要望はやや落ちる。
3. 学生への個別指導の重要性が高く出た。

学生の性別と学年を要因とした分散分析（2元配置）の結果では、次の傾向だけが統計的に有意となった：「学生の成績を保証人に知らせること」を重要と考える傾向は、男子学生の保証人の方が女子学生の保証人より強い。その他の項目では、学生の性別、学年による差はない。

要望 (Q 4、自由記述)

Q 4への回答記述の全てを以下に示す。内容別に高木が暫定的に分類した。

保証人への対応

- ・編入生の案内が遅い(すでに会費振込済)初めから編入生用と別けた案内がほしかった。公平さが欠けています。
- ・在学生の学業成績が芳しくない場合は、保証人に知らせて、これからの指導をして頂けると助かります。
- ・又、卒業(4年間)が難しい場合は、通告をして欲しいです。本人任せの場合は、とても難しいです。もっと厳しく学生を指導して、保証人にも通知して下さい。
- ・よろしくお願い致します。
- ・国立大学の立場を生かして他の国立大学での授業内容や書物も紹介していただけたらと思います。将来埼玉大教養学部で学んでよかったとプライドを持てるものを持たせたい。
- ・私立大学に比べて説明責任が不足。このアンケートが反映されることを望みます。
- ・今回、このような同意書や確認書が送付されましたが、それが個人情報保護法のもとでやらざるをえなかった経緯は理解できます。しかし、何故か違和感を覚えます。在学中は保証人(保護者)が責任をもって、学費を出しております。その者に対して、学業に関する事をお知らせするのは当たり前のことではないでしょうか。又は、大学の方針として、在学中はその保証人(保護者)には、学業に関する事についてお知らせする旨を明示したらどうでしょう。もっと大学の方針を明らかにすることも必要だと考えます。
- ・自分の大学生時代には保証人に成績を知らせるといったことなど考えられなかったのが、時代の違いを感じます。
- ・昨年秋、今年の春と、成績表が送付されるのをずっと待っていた。個人情報保護法への対応が遅すぎたのではないかと？
- ・男子学生で、なかなかコミュニケーションがとれないため修学状況、学部状況等を知らせていただきたい。
- ・学生の成績を保証人に知らせることが初めてのことで驚きました。私自身が大学時代のことを思い起こし、個を大切に、大学や学部のあり方を学生や親・保証人に知らせ、

双方向を大切にするという大学の思いや姿勢を感じました。個別指導を充実し、魅力ある授業、学部であってほしいと願っています。成績ですが学修状況の数値・合否だけでなく、一個人のがんばりや成果を簡単な所見で知らせていただくことは、可能かどうかわかりませんが、実現したら素晴らしいことだと思います。これが双方向といえると思います。すみません、思いつくままに記しました。大学の成績のイメージが自分の成績票しかなく、上の問3eに記載されていたので考えました。1年時ということではなく、4年間の中で数回あればと要望します。

大学・学部のあり方

- ・大学としての特色をより明確にする方向へ進んだほうが良いのでは。
- ・埼玉大学教養学部の特徴として“幅広い知識(分野)”を“総合的にも専門的にも深めることのできる”環境があると考えます。実際、その点に惹かれて入学した学生も多くいます。ですが、ここ数年(特に今年度)の講義シラバスを見る限りでは“幅広い知識”も“専門(あるいは総合)性”も、どちらもかなえられていないように感じられました。学生の間でも「取りたい授業がない」という意見が聞かれています。経費削減の一環でしょうか、講師の人数を減らすことになったのが原因だと思います。その割に、通路の補修や新舎(それも学生の授業には直接関係しない学生課etc)の建設など少し疑問のあるお金の使い方が目立つのではないのでしょうか。もちろん、学生生活のサポートとして学生課の方々も一生懸命働いて下さっているのはわかるのですが...“お役所仕事”の職員が多いのも事実です。
- ・正門にモニUMENTがなくても、勉強はできます。授業・教員の充実を、後輩のためにも切望します。
- ・人生の中で大学で何かを学んだと記憶に残るような御指導をしていただければと思います。
- ・目先の成績主義に偏ることなく、長い目で学生の成長を捕らえてゆくべきだと思う。そもそも大学で学ぶことが、即効的なものと考え方には抵抗を感じる。仮にそれを

望むのであれば、その主旨に合った処へ行けばよい。折角、国立(今では、国立大学法人だが)なのだから、私立を模倣しているような方針をとらない方がよいと思う。具体的には、少人数のゼミは残存し、聴講者の少ない講義も存続させるべきだと思う。教養学部では他学部 비해、そのような視点がとくに大切な気がしてならない。また、安易に技術を習得する場とならないことを願う。

・日本で数少ない“教養”学部として、広く、深く、充実した教育&研究体制を整えてほしい。・学内設備よりも授業の充実につとめて頂きたいです。

・研究費削減などの理由で、外部講師による授業が少なくなったり野外実習など学部から一切援助なしで行われていると聞いております。授業料は値上がり、教育協力会費など払っても、その分返ってこなければ意味がありません。学長が理系の方で、研究費の多くが理系に充てられてしまうようですが、教養学部にもきちんと割り当てられるようお願いいたします。

カリキュラム：意見

・教育財政難を学生授業選択コマの削減とせず、学生の研究・追求しようとする意欲に対応し3,4年では授業からゼミ化を要望。夢と期待を持って入学した埼玉大教養学部の特徴を作って欲しい!

・幅広く学習できる貴重な学部だと思う。

・学部をこえた選択もできるが、ある程度、学習の方向性が決められるような、講義を望む。

・教養学部というのは名前から受ける感じで言うならば、役立たないことを真剣に学び研究する学部ではないのか。就職率がどうのこうのと騒がれるのにつられて、即戦力となる学力や知識を身につけさせることを目標にし出したとしたら、この学部の役割は半ば終わったのではないか。せめて第二外国語4単位ぐらいは必修とし、それから役立たない学問を柱として学びつつも世に有能視される学生を育てるにはどうあるべきかを真剣に検討願いたい。

・広く、深く、自由な学習の場を与えて頂いているのは、たいへんにありがたいことです。是非とも、その趣旨どおりに、学生生活を送ってくれることを希望しています。ただし4年間の学生生活を経た後は、社会人として世の中に出て行かなければなりません。社会人には目的の絞込みが要求され、今までより狭い世界の中で、より深く物事を掘

り下げていくことが要求されます。学究の場における、広く、深く、自由からそのような環境にいかにもスムーズに移行するのか、考え方を含め、授業の中で、学生にご教授願いたい。

・例えば工学部の教育において即戦力となるような専門学校的な方向ではなく数学や理科の素養を重点におきたいという考えと同じように、教養学部においても、幅広く人間としての品性(豊かさ)が身につけてくれればうれしいと思います。難しいことですがそんな“おおらかさ”を期待しています。

・埼玉大教養学部ならではの特色(魅力)あるカリキュラムの構築を望みます。

・学生は就職先(職業等)を考えて大学の各学部(学科)を選択する訳ですから、大学サイドは、その分野でのスペシャリストを育成することが重要であると思います。

・卒業することに意味があるのではなくその大学で何を学ぶのが大切であると考えています。学生が興味を持ち積極的に学んでくれることを切に希望いたします。そのためには大学側も魅力ある授業やゼミ等の取り組みをお願いしたいと思います。

・子供であり、大人でもある学生を、相手することは、大変なことだと思います。結果として、教養となっても、専門性を高めた授業を受け、身に付けてほしいと思います。

・教養学部は文系に属する様ですが理系的コースも選択できる様なら良いと思います。理学部・工学部に属さなくとも教養学部の中に理工的コースは必要かと思う。学部では中途半端になるかもしれないが興味がわけば大学院で他学部受験でもよいし、教養学部の中に独自の大学院コースをつくってもよし。

・埼玉大学でなければ得ることのできない能力を身につけることのできる教育を熱望します。

・ご周知の通り、日本も国際社会の中で、経済、技術他、多方面にわたりグローバル化が必要となっています。英語他第2外国語の充実(会話力:コミュニケーション能力)とともに、諸外国の地政学等も学ぶ必要があります。又、日本人である我々として、日本の文化、歴史についても充分な見識を持つ事も同様です。教養学部として、幅広い知識はもちろん上記についても、ご考慮戴ければ幸いです。

・大学4年間で社会に出て充分役に立てる人間としての成長を願っております。もちろん専門的知識も必要だと思

ますが、私的にはゴールはあくまでも卒業後の本人の自立＝就職だと考えています。大学で学んだことを充分社会生活にも生かせるようご指導を頂きたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

カリキュラム：不満

- ・授業の種類が少ないとぼやいていました
- ・教養学部と銘うちながら外国語が英語 8 単位のみ必修というのはどうみても恥ずかしいのではないか。今の時代は英語ですべて事が足りるなどと言うのはどこかの実用本位を旨とする学部の発想であって、教養学部で教育指導にあたっている教員たちが本当に英語だけで十分と思っているのか聞きたい。
- ・英語で行なう授業を増やす。アメリカ研究という専攻があるのに第 2 外国語としてスペイン語がないのは納得いかない。
- ・学生の生活状況を把握。実社会で活躍できるよう教育内容を充実して欲しい。
- ・受けられる授業数が少なすぎる。
- ・必修の講義数を多くするとともに選択する講座も取りやすくしてほしいです。
- ・教養学部ではゼミがとれないのは(教養学部でゼミのないコースがあるのは)理解できないので説明してほしいです。
- ・教養学部の教育内容を見ると系統的な専門性にやや欠けるような気がします。どういう選択をし、どう頑張れば、実社会でどういう分野で活躍できるのか、その方向性を示して下さると共に、個別指導を充実させていただきたくと存じます。
- ・幅の広い知識を豊かに学べると同時に、1人ひとりの学生がのぞむ専門的な分野での知識も学べるよう、ご配慮・ご指導をお願いいたします。
- ・キャリア教育や就職支援に力を入れてほしい。

学生指導

- ・充実した人間形成に必要な指導を希望します。
- ・保護者としては有意義な 4 年間を送ることを望んでいる。学生本人の自覚も必要だが、サポート体制の充実を計り、自己実現をバックアップして欲しい。
- ・子供は埼玉大学へ入学することを、非常な喜びとして受

験勉強をしておりました。そのエネルギーを入学後ストレートに勉学に向けているのか、どうか多少疑問に感じております。講座が魅力的かどうか質問したのですが、明確には答えません。教養学部ということで親に理解がたりない部分もあるのでしょうか。

- ・サークル活動に教授も参加し学生に声をかけてほしい。
- ・大学人にはゆったりと自由性を尊重した教育と研究活動が行われる環境を期待し、そのような様子を学生が感じられるような学生を身近にした指導をお願いしたい。
- ・潜在能力の高い学生も多く在籍していることと思います。学究肌の方もあれば、資格等を取得して 4 年で社会へ出たいと望む方もあろうと思われま。せっかくの質の高い授業、また学生の希望・能力の両方を無駄にすることのないよう、個々の学生の適性・希望の調査を重ねた上、大学院進学、4 年卒業時での就業、4 年時点での将来像を描くことのできる資格の取得等、きめの細かいご指導を賜りたく、お願い申し上げます。末筆ながら、日頃のご指導、ご鞭撻に感謝申し上げますとともに、埼玉大学の増々のご発展を心よりお祈り申し上げます。
- ・学生生活の大きな部分を占めているサークル活動が、暴走気味の大学がある。管理すべきとは思わないが、大学当局はどの程度その実態を握っているのか。・カリキュラムの改訂があったにもかかわらず、学生課職員、大学教員がそのシステムを理解していない様子が伺える。せめて学生用のパンフレットにかかっていることは熟読して欲しい。「改革」とは名ばかりとの印象を受ける。
- ・親にとって、この時期の子に対する一番の心配は、進路の実現のことです。具体的には、就職にしろ、大学院進学にしろ、本人の資質に合った適切な指導をぜひお願いしたいと思うのです。親には、子の能力についても、今の就職活動や大学院受験のしかたとか実態等についても、よくわかりません。このことを一番把握していると思われる大学にこそ、各人に合わせた丁寧な指導や現実に沿った援護が要請されていると思われてなりません。よりよい進路が実現できるよう祈るばかりです。善導を期待しております。
- ・自由な環境の中でも一人の自立した大人(精神的にも体力的にも)となるための指導や育成をお願いします。同時に甘えを許さぬ大人社会の厳しさ(学問・生活の両面)もビシビシ伝えてほしい。
- ・個人の学生をよく把握しながら、ご指導いただけたらと

思います。(入学以来、いろいろなお配慮ありがとうございます。今後共、よろしく願い申し上げます。)

- ・学生とは云え、在学中に20才=成人となるのだから1人の社会人として、規律を守ること(の意義を)を4年間で習得する様、指導をお願いしたい。
- ・子供が、講義の取り方について、理解不足があったのかも知れませんが、結果的に受講数がかなり少なくなっていたと思います。もう少し多く取れるような工夫を、大学としてもしてもらえればうれしいと思います。
- ・授業外で、公務員試験、パソコン、英会話など就職に備えての学習指導もお願いします。

授業

- ・3年次に編入したのですが、一週間のうちに何も授業のない時間が多くあるようです。本人の取り組み方次第なのでしょうが、せっかく大学に入っているのにもったいない気がします。親元を離れているのでどのように時間を過ごしているのかやや心配。
- ・分かり易くまた専門性のある授業を行ってほしい。その授業に出席したからこそ学べたというようなレベルの授業を行ってほしい。
- ・学生が興味を持って、おもしろく授業が受けれるような教材、テーマを扱ってほしい。
- ・息子が授業がおもしろくなく、先輩や同期の友人が、90分がもったいないとぼしてるといってました。高校の授業のほうがおもしろかったといっています。広い教室で授業によっては前の方で数人くらいが聞いていて、あとの大半の学生は寝ている。そして先生はたんたんとしゃべっていく・・・。そういうことがよくあるといっています。私の学生時代も時にそんな光景を目にしましたが、大学に入ったばかりの息子はガッカリしたようです。おもしろいと思えるか、どうかは学生の質による部分も大きいでしょうが、どんな子も本当は学びたい、知りたい、ととめて大学に足をはこんでいます。先生たちも学生たちのそういう気持ちに答える授業をつくってほしいです。

就職支援

- ・進路状況を詳しく知らせて欲しい。進路決定までの活動状況。
- ・学業も大切ですが、その後の人生に特に必要な生活の糧

を得るためにも卒業後の件です。本人が自主的にするのは当然ですが、私大のような就職するための支援対策をぜひお願いします。

- ・親が気になるのは学問だけではなく就職力も気になることである。就職力という点で大学の取組が良く見えなかった
- ・3年次よりの編入の為、本人にすべて任せております。しかし今年度、仕事を探すにあたり、非常に大変そうでした。
- ・学生生活を楽しむのもいい。でも知識や技術をどん欲に身に付ける気持ちを持ってほしいので、その場を与えてほしい。
- ・大学生活=就職へのステップとは考えたくないが、いざ就職活動となった際には適切なアドバイス・指導が欲しいと思います。私学はきめ細かい指導があり国立は少ないような気がしますので(数少ない経験から)宜しく願いしたいと思います。
- ・学生が就職活動をするにあたり、学部がどのようなお手伝いをしてくださるのか、不明ですが、他の大学では就職に力を入れて、授業と並行して就職についての勉強会を行ない、就職力を高めているようです。学生個人の意思に任せるのではなく、学部としてもお力を貸して欲しいです。
- ・卒業生がどのような会社及公の機関に就職しているか資料があったら入手希望します。また教養学から官庁への就職状況等は是非知っておきたいと思います。
- ・就職活動に力を入れて欲しいです。
- ・過年度の就職状況を書面で知らせてほしい。
- ・就職指導をよろしくお願いいたします。

設備要望

- ・休日のインターネットの解放。
- ・学生食堂の充実。
- ・図書館の専門書の充実をお願いしたい。町の図書館にも置いてある専門書が大学の図書館にはないというのはいかがなものか。
- ・大学に対してになりますが、学生が使用するテニスコート(ハードコート)を整備して下さい。
- ・自分で問題点や課題を見つけ、それについて調べる時、図書館の蔵書の充実、インターネット(検索)の整備、教授・先輩方からのアドバイス・サポート等、研究・調査に

やりがい・達成感が得られる環境整備をお願いします(どんなつまらないことでも”何の役にも立ちそうもない”ことでも)

・施設の充実(特にトイレ)をお願いしたい。
・お世話になっています。ありがとうございます。ひとり暮らしをはじめて心配ばかりですが、学食が利用できることを喜んでいましたら、いつもいっぱい新一年生は席がないということですが…。それと、生協の方で栄養指導、健康教室他ありますか? 就活指導はどのようにされているのか、どのようにしたらいいのかいちばん心配しています。今後よろしくお願いいいたします。

アンケートへの注文

・アンケートをしながら気づいたことは、我が子のような自宅通学の子と親元を離れて生活している子の親では、特に第2問目などは、考えが変わってくるのではないかと思います。今回は問1の項目に加えたいかがでしょうか? さしでがましくて申し訳ありません。

・今回の保証人に対するアンケートについては「ご挨拶」にある様に「簡単なアンケート」とは思いません。大学運営に関わる重要な考え方を問う内容になっています。教育を仕事とする先生方におかれましては基本的な運営方針が定まった上でのアンケートであれば良いと思いますがどうでしょうか? アンケートの設問内容にも疑問を感じます。例えば「大学では何の役に立つかわからない知識よりも、社会に出てから役に立つ知識を優先的に学ばせるべきだ」とありますが、「知識」に対して「何の役に立つかわからない」とか「社会に出てから役に立つ」とか簡単に判断できるのでしょうか。このようなアンケートを行うのであれば明確な目的を定めて、目的に合った回答が得られる様十分に議論を行った上で実施し、分析ができる様にしてください。

・『返信用封筒での返送』では、記入者が特定される可能性はかなり高いと思わざるをえません。あくまでも、アンケート結果を有効に活用したいのならば、アンケート専用の返信用封筒を使用の方がよいと考えますが、いかがでしょうか。・ちなみに、今回については、記入者が特定されたとしてもやむをえないという立場で、返送致します。

謝辞、感想など

・4年生です(あと8ヶ月)卒業するまであと少しとなりました。大変お世話になりました。・サークルの為に大学生活を送った感じで年月を費やしたように私共、親としても非常に残念なような気がしてなりません。親と子の意見の食い違いも出てきて就職活動もしないまま、本人は自分の哲学を持っているようです。無事卒業できるかどうかは親としては心配ですがどうか今後共、何卒御指導の程よろしくお願ひ申し上げます。

・娘が充実した学生生活を送っている事は毎日の生活態度や表情からもわかります。学部の方の努力に感謝しております。これからもよろしくご指導お願ひいたします。

・私は(保証人) 地方に住み、長女を貴大学へ入学させてもらいました。アルバイトに熱中しているようですが、私自身の反省で、大学の勉強学校へはあまり全然行かなかったみたいなので、自分の子供には、大学で多めに勉強しゼミに入って先生や友達とせっさたくましてほしいと願っています。私も開かれた大学が良いと思います。上京した時に娘と一緒に校内を散策させてもらえる事が楽しみです。

・今年入学して家を出て1人暮らしをしている為、まだまだ心配ばかりです。学校の様子などわかれば少し身近に感じて安心するのもかも……。4年後立派な自立した大人になっている事を期待します。

・現状、特にありません。

・息子がいつもお世話になっております。埼玉県外からの入学なので、離れて生活しています。1年次後期が終了し、大学生活にも慣れた頃だと思います。今後とも宜しくお願い致します。

・まずは大学生活の環境に慣れ、一人暮らしをして自立し4年間で目的を見つけたいものだと思います。今、大学生についての問題がたくさんあるなか、埼玉大に入学した以上は規律を守り楽しく過ごしてほしいと思っています。ただ遠くから見守るばかりです。